The 65th Annual Meeting of The Japanese Respiratory Society
第65回日本呼吸器学会学術講演会

コーヒーブレイクセミナー9

Coffee Break Seminar 9

日時 2025年4月11日(金) 15:45～16:45

会場 第9会場 東京国際フォーラム G502

〒100-0005 東京都千代田区丸の内3-5-1

進行性肺線維症のアンメットニーズに挑む：

トータルマネジメントへの実践的アプローチ

座長 阿部 信二 先生

東京医科大学 呼吸器内科学分野 主任教授
東京医科大学病院 副院長

演者 立川 良 先生

神戸市立医療センター中央市民病院
呼吸器内科 部長代行

本セミナーは整理券制ではありません

本セミナーのご参加には本学術講習会への参加登録が必要です。
参加登録方法は本学術講演会WEBサイトをご確認ください。
https://www.jrs.or.jp/jrs65/

オンデマンド配信あり

ライブ配信はございませんが、上記日時での会場の他、オンデマンド配信をいたします。
配信期間は学術講演会WEBサイトをご確認ください。
https://www.jrs.or.jp/jrs65/

共催：第65回日本呼吸器学会学術講演会
フクダ電子株式会社

コーヒーブレイクセミナー9

Coffee Break Seminar 9

進行性肺線維症のアンメットニーズに挑む：トータルマネジメントへの実践的アプローチ

立川　良

神戸市立医療センター中央市民病院 呼吸器内科 部長代行

間質性肺疾患の多様性は、診療の魅力の原点である。反面、その多様性に対応できる疾患横断的・多次元的なアプローチの欠如は、長年の課題でもあった。その意味では、近年導入された「進行性肺線維症」の概念は、間質性肺疾患診療におけるパラダイムシフトと言える。進行性肺線維症は、線維化進行という共通の病態に基づき間質性疾患を横断的に捉える枠組みを提供するものであり、個々の疾患の特異性を前提としつつも、診断体系に依存しない治療最適化を可能とする。

この新たな視座を手にした今、改めて私たちは間質性肺疾患患者のトータルマネジメントの達成に向けて、どのような課題と向き合っているだろうか。進行性線維化を回避するための早期診断と治療の推進、的確な疾患標的治療の普及と標準化、酸素療法の適切な導入と管理、呼吸リハビリテーションや緩和ケアの臨床実装、そして全人的ケアに不可欠な多職種連携と地域連携の構築 ― 進行性肺線維症に共通する臨床的なアンメットニーズを俯瞰しつつ、その課題を克服する実践的アプローチについて考えてみたい。

共催：第65回日本呼吸器学会学術講演会
フクダ電子株式会社